

令和3年度 コンセッション事業推進セミナー
「広島空港の取り組み」

hiap



2022年1月27日
広島国際空港株式会社

Hiroshima International Airport Co., Ltd.

目次

1. 広島空港の民営化（運営権民間委託）について
2. 広島国際空港株式会社概要
3. 広島空港概要
4. 運営状況
5. マスタープラン
6. 2021年度の主な取り組み

1. 広島空港の民営化（運営権民間委託）について

◆ 空港経営改革（コンセッションスキーム）の概要

国管理空港等

民活空港運営法に基づき民間による創意工夫を活かした一体経営を実現し、着陸料等の柔軟な設定等を通じた航空ネットワークの充実、内外の交流人口拡大等による地域活性化を図る。

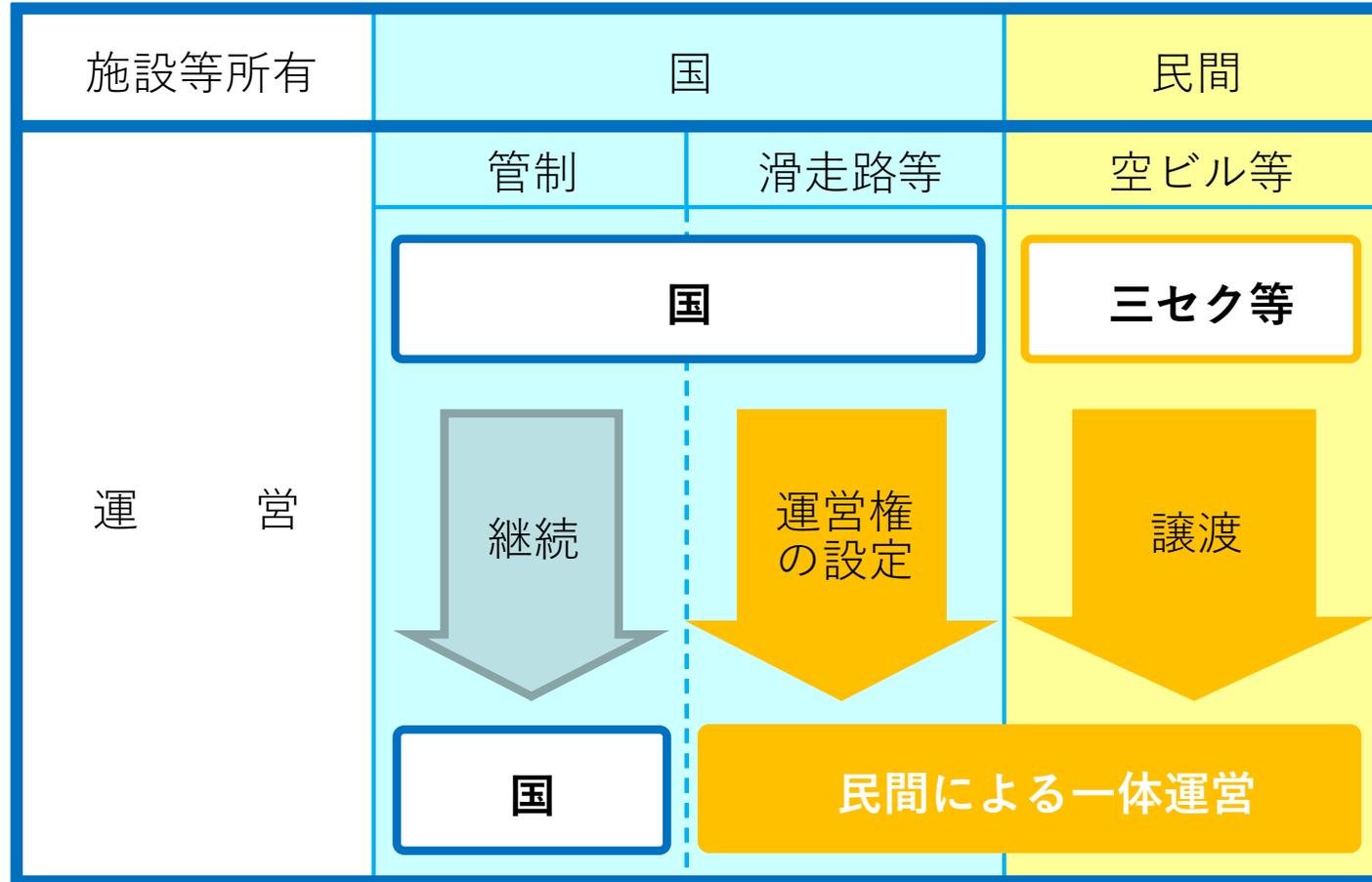
民間委託手法

国等が土地等の所有権を留保しつつ、民間に運営権を設定し、航空系事業と非航空系事業を一体経営

- 運営権者は、国等から公共施設等運営権の設定を受けることにより滑走路等の運営を実施、三セク等の株式を取得することによりターミナルビル等の運営を実施する。
- 運営権者は、着陸料その他の収入を設定・收受し、これらの収入により事業実施に要する費用を負担する。

1. 広島空港の民営化（運営権民間委託）について

◆ コンセSSIONスキーム（国管理空港の場合）

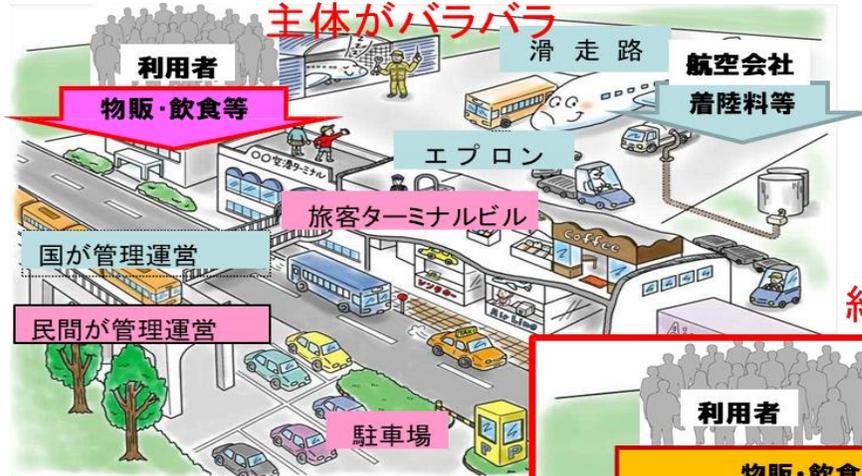


* 出所 / 国土交通省

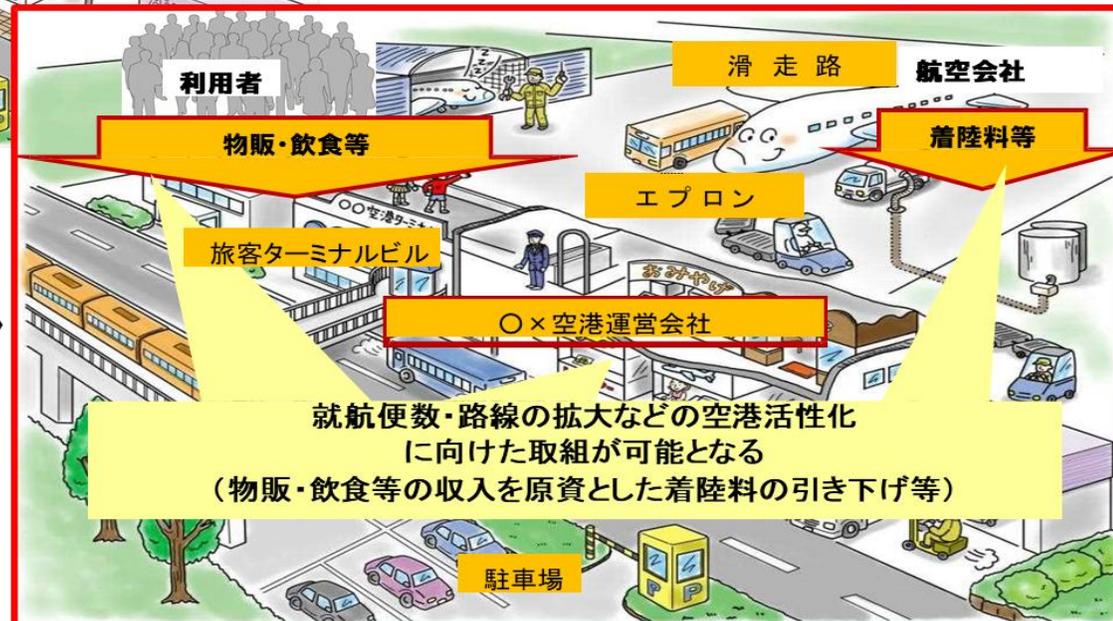
1. 広島空港の民営化（運営権民間委託）について

◆ コンセSSIONスキーム（国管理空港の場合）

我が国の国管理空港は、各施設の運営
主体がバラバラ



経営一体化とそのメリット



* 出所 / 国土交通省

1. 広島空港の民営化（運営権民間委託）について

- ◆ 空港経営の一体化により、就航便数・路線拡大などの空港活性化に向けた取組みが可能
- ◆ 国管理空港の民営化は、広島空港で6例目



空港名	民間運営開始時期
仙台空港	2016年7月
高松空港	2018年4月
福岡空港	2019年4月
北海道内7空港	2020年1月
熊本空港	2020年4月
広島空港	2021年7月

※HAB=広島空港ビルディング株式会社

2. 会社概要 ①HIAP

商号	広島国際空港株式会社 Hiroshima International Airport Co., Ltd. (HIAP)	
設立年月日	2020年11月18日	
資本金	9,250百万円	
代表者	代表取締役社長 中村 康浩	
住所	三原市本郷町善入寺64番地31	
株主	三井不動産株式会社 東急株式会社 株式会社広島銀行 ひろぎんキャピタルパートナーズ株式会社 広島電鉄株式会社 九州電力株式会社 中国電力株式会社 株式会社中電工	株式会社エネルギー・コミュニケーションズ マツダ株式会社 福山通運株式会社 株式会社広島マツダ 広島ガス株式会社 住友商事株式会社 東急建設株式会社 株式会社東急コミュニティー
従業員数	103名（令和3年7月現在）	
事業内容	広島空港の運営およびそれに付帯する業務 ・ 広島空港の管理運営等 ・ 駐車場の管理運営 ・ 売店における物品販売	・ 旅客や送迎客に対するサービスの提供 ・ 広告宣伝業 ・ ホテル事業(株)広島エアポートホテル)
関連会社	株式会社広島エアポートホテル	

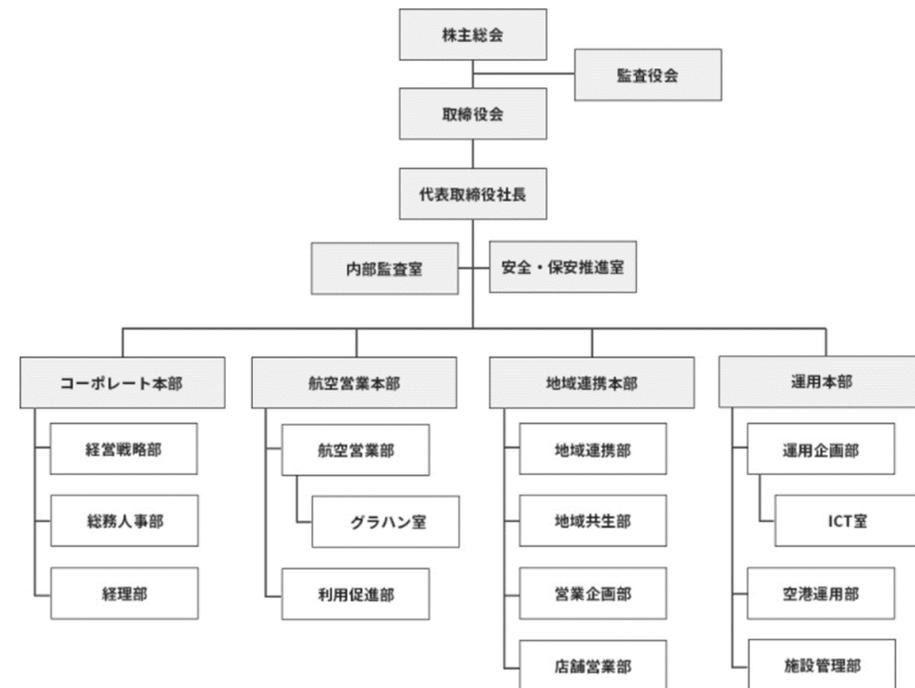
2. 会社概要 ②沿革・組織図

- ◆ 2020年11月に広島国際空港(株)を設立
- ◆ 2021年7月よりターミナルビル、駐車場、滑走路の一体運営を開始

沿革

1961年(昭和36年4月17日)	広島空港ビルディング株式会社設立
1961年(昭和36年9月)	旅客ビル竣工及び開業(広島市西区)
1993年(平成5年10月29日)	新空港移転開業(豊田郡本郷町)
2005年(平成17年4月1日)	広島エアカーゴターミナル(株)を吸収合併
2010年(平成22年8月31日)	広島エアポートホテルの建物取得
2011年(平成23年9月30日)	ホテル運営会社(株広島エアポートホテル)の株式取得(100%子会社化)
2020年(令和2年11月18日)	広島国際空港株式会社設立
2021年(令和3年1月22日)	広島空港ビルディング株式会社完全子会社化
2021年(令和3年2月1日)	広島空港特定運営事業等ビル施設等事業開始
2021年(令和3年4月1日)	広島空港ビルディング株式会社を吸収合併
2021年(令和3年7月1日)	広島空港運営事業開始

組織図



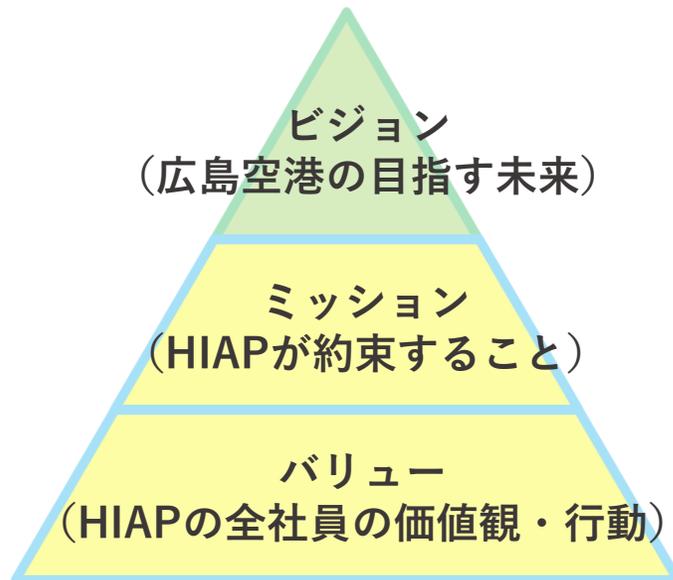
2. 会社概要 ③HIAP ロゴ / ビジョン・ミッション・バリュー

◆ ロゴ



瀬戸内の水平線と、そこに浮かぶ個性豊かな島々をモチーフにした、親しみやすさとインパクトをあわせ持つデザインです。ブルーのラインは、美しく豊かな環境の中、同じ目標に向かいまっすぐに進む力強い意志を、HIAPのワードマークは、従業員が互いの豊かな個性を認め合い、成長を続けられる空港運営会社であるように、という思いが込められています。

◆ ビジョン・ミッション・バリュー



地域のチカラを、世界とツナグ。

世界に目を向け、世界の期待に応える。

空港のCOREを守り、MOREを広げる。

3. 広島空港概要 ①空港全景

- ◆ 滑走路 : 1本 (3,000m × 60m)
- ◆ エプロン : 12バース (大型航空機用8、小型航空機用1、小型固定翼・回転翼用3)
- ◆ 運用時間 : 15時間 (7時30分～22時30分)



3. 広島空港概要 ②アクセス



■ JR・バスを利用する場合	JR白市駅	バスで 約15分
	JR三原駅	バスで 約30分
	JR広島駅	バスで 約50分
■ クルマ・バイクを利用する場合	山陽自動車道 河内ICまたは本郷IC	クルマで 約5分

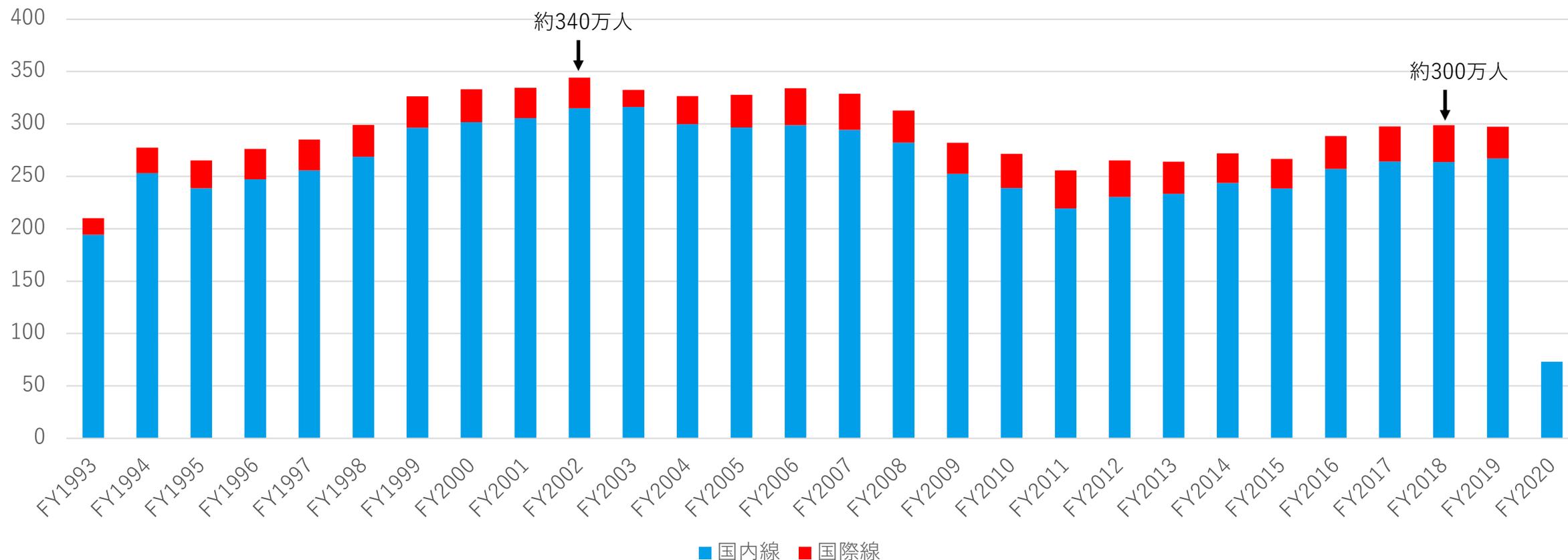
広島空港

4. 運営状況 ①旅客数の推移 (FY1993-FY2020)

- ◆ 2002年度には約340万人を記録
- ◆ その後減少するも2018年度には約300万人に回復
- ◆ 2020年2月より新型コロナウイルスの影響により大きく減少

単位 (万人)

広島空港の旅客数推移



4. 運営状況 ②旅客数の推移（2020.4 – 2021.12）

◆ 新型コロナウイルスの影響により2021年6月には約5万人にまで大きく減少

◆ 主な就航路線

国内線	国際線（運休中）
東京、成田、札幌、 仙台、沖縄	ソウル、大連、北京、 上海、成都、台北、 香港、シンガポール、 バンコク

単位（万人）

広島空港の旅客数推移



5. マスタープラン

中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No.1ゲートウェイ

広島空港を「あらゆる旅行者に最も選ばれる玄関口」へ、中四国を「世界に選ばれる目的地」へ



戦略的事業方針

1. 中四国で唯一無二の航空ネットワークの構築
 - 中四国で唯一の国際路線の誘致
 - 本邦LCC・リージョナルキャリアの拠点化
 - アジア主要路線のデAILY化
2. 全旅程において旅客の期待を上回る感動体験の提供
 - 中四国全域の航空需要を取り込む交通拠点化
 - 旅を彩る新たな商業体験の提供
 - 臨空エリアと一体で中四国の魅力を発信する観光拠点化
3. 観光・ビジネス双方によるインバウンド・アウトバウンド需要の創造と獲得
 - 中四国観光の課題解決により、世界に選ばれる目的地へ
 - 構成員自らによる需要創造と空港の利用促進

2050年度目標値

- 旅客数 586万人
- 貨物量 26.2千t
- 路線数/便数 国内線：8路線/2.4万便
国際線：22路線/1.6万便
- 航空系収入 19億円
- 非航空系収入 132億円
- 総合満足度：8.0
- NPSスコア：20.0
- 搭乗手続きに係る時間 国内線出発10分以内

5. マスタープラン

中四国で唯一無二の航空ネットワークの構築

- ターゲットの特性を踏まえて最適な方法で需要を創出し、新規就航路線の実現可能性を向上
- 構成員ネットワークを最大限活用し、蓋然性の高い誘致活動を実施
- ネットワーク戦略に即して施設運用を実現するとともに、グラハンの受入容量を強化
- ターゲットとするエアラインの特性に鑑み、採算性を考慮した就航しやすい料金施策を導入



	路線数	年間旅客数
現状 (2018年度)	12路線 (国内5路線、国際7路線)	300万人 (国内265万人、国際35万人)
30年後	30路線 (国内8路線、国際22路線)	586万人 (国内350万人、国際236万人)

成長ステップ



航空ネットワーク

- 国内線**
 - LCCの拠点化による低廉な路線の拡充
 - 地方路線の拡充
- 国際線**
 - アジア主要路線のデイリー化
 - 東アジアの地方都市や東南・アジア路線の誘致
- 就航・増便促進**
 - 専門性と地域との強固なネットワークを有する誘致体制
 - 地域の「草の根」レベルの航空需要の集約
 - 内際共用を含むスポットの増設による受入体制整備
 - グランドハンドリングの体制・容量強化
- 料金施策**
 - 就航コストや固定費の低減
 - 復便や新規就航を促す割引・インセンティブ
 - 就航後も路線採算性向上を支援する料金施策

5. マスタープラン

全旅程において旅客の期待を上回る感動体験の提供

交通ネットワーク

空港アクセス

- 広島市内方面バスの大幅増便
- 東広島駅へのバス路線新設による新幹線への接続強化
- 直行バス路線の拡充（9→17路線）
- 交通モードの多様化（7モード新規追加）

連携強化

- 中四国の広範な交通事業者（鉄道・バス・船舶等）との連携強化によるシームレスな移動の実現

空港施設等の運用

旅客動線と商業エリアの刷新

- 需要拡大に合わせ、段階的に増築
- 搭乗直前まで快適な時間を過ごせるよう、制限エリアの店舗を拡充
- “地域”を訴求するショーケース化
- 免税店の充実・ウォークスルー化

内際ファストトラベルの推進

- 内際の保安検査場の拡張
- スマートセキュリティの導入による搭乗手続き時間の改善
- デジタル技術やWebを活用した利便性・満足度向上

交通機能の強化

- 駐車場容量の増強と多様な利用者のニーズに応える駐車場料金体系
- 国内線・国際線到着エリアの一体化、バス待合スペースの屋内化
- レンタカーステーションの新設

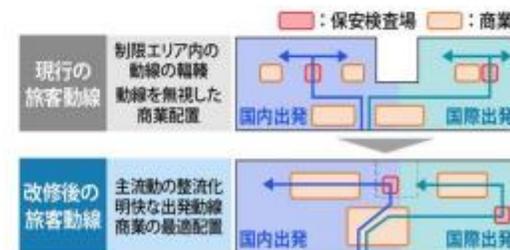
* 将来イメージ



将来の旅行体験



シンプルなウォークスルー動線の実現



5. マスタープラン

全旅程において旅客の期待を上回る感動体験の提供

ターミナルビル出発ロビー



スマートセキュリティを導入した保安検査場



ウォークスルーで楽しめる国内線商業エリア



瀬戸内の海と島を表現したバスターミナル



日本初のオープンラウンジ



快適に楽しめる免税エリア



5. マスタープラン

観光・ビジネス双方によるインバウンド・アウトバウンド需要の創造と獲得

空港の利用促進・需要創造

- 発地側におけるデスティネーションマーケティングによる中四国の観光目的地としての認知度向上
- 地域の観光事業者等との連携による中四国周遊需要の創造
- 中四国の法人利用の促進やビジネス需要創造のための「サポーターズ倶楽部」の組成
- 強固な官民連携による地域一丸となったエリアプロモーション・エアラインセールス

社外との連携

- 中四国地域及び就航先の観光関係者、政府観光局、行政と連携し、関係者一丸で広島空港の利用を促進
- 地域の交通事業者との連携により、交通ネットワークを構築し、中四国地域の往来需要を獲得

連携イメージ



地域との共生事業

- 空港振興・環境整備支援機構の地域共生事業の確実な承継に加え、地域活性化に従前以上に注力

安全・安心な空港の実現

安全・保安に関する基本施策概要

- 経営トップを中心に空港関係者が一丸となって安全・保安を確保する体制構築と風土醸成を実現
- 他空港やインフラの運営経験を持つ株主と地元株主の知見とリソースをフル活用

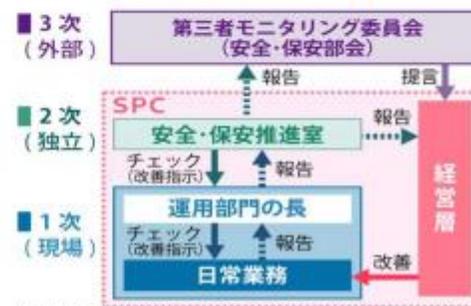
安全・保安に関するセルフモニタリングの基本方針概要

- 安全・保安に関する全業務を対象とする3段階のモニタリング体制
- 3次モニタリングは外部有識者を含む第三者委員会形式とし、多面的にチェック

安全・保安管理体制



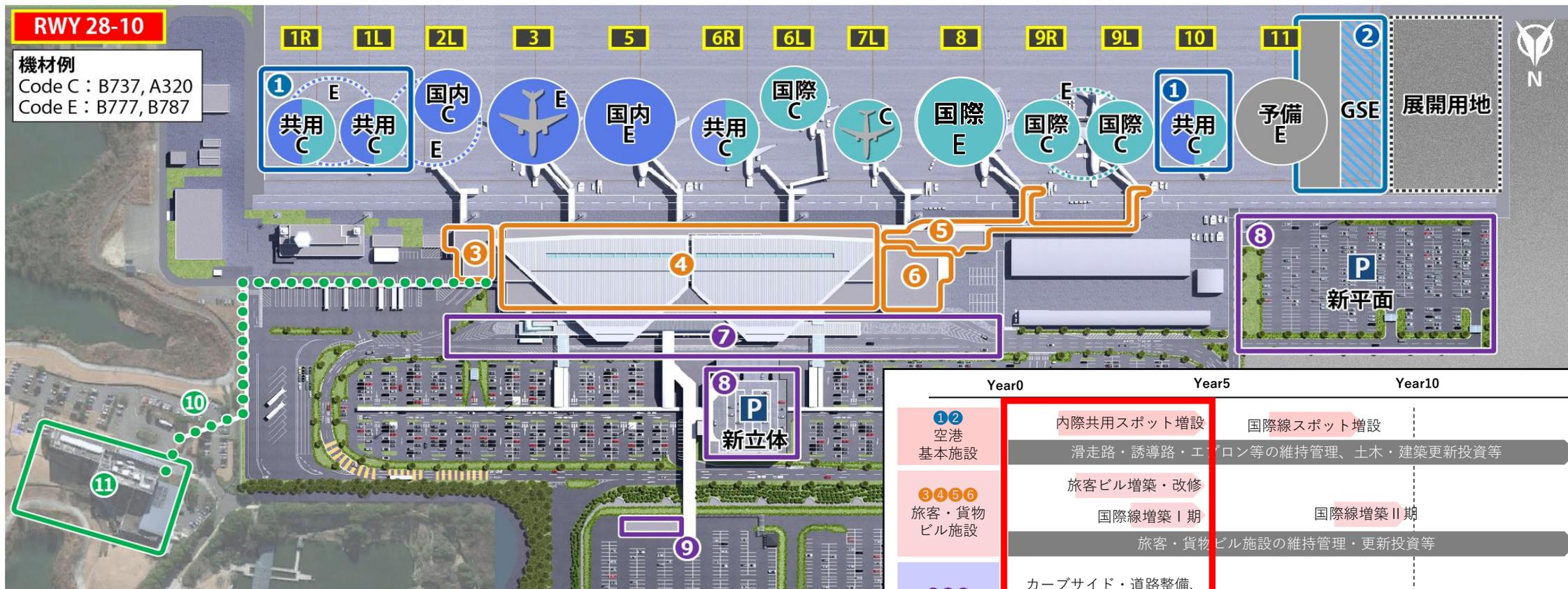
セルフモニタリング体制図



視点自律的な課題抽出、安全・保安意識浸透、PDCAサイクルの実効性等
 関西空港基本施設等、ビル施設、駐車場施設等を含む安全・保安に関する全業務

5. マスタープラン

2025年度までの投資計画



	Year0	Year5	Year10
1 2 空港 基本施設		内陸共用スポット増設 国際線スポット増設	国際線スポット増設
3 4 5 6 旅客・貨物 ビル施設		旅客ビル増築・改修 国際線増築Ⅰ期	国際線増築Ⅱ期
7 8 9 駐車場 施設		カーブサイド・道路整備、 駐車場容量の拡大、レン タカーステーション新設	
10 11 任意事業		ホテル歩行者空間整備、 エアポートホテル改編	
		滑走路・誘導路・エ ロン等の維持管理、土木・建築更新投資等	
		旅客・貨物ビル施設の維持管理・更新投資等	
		駐車場の維持管理・更新投資等	
		ホテル施設等の維持管理・更新投資等	

※ この中期事業計画は、2020年7月の提案時における想定です

6. 2021年度トピックス

初便就航イベントの開催（7月1日）

民間運営開始を記念して、初便就航イベントを開催しました。保安検査場を1番に通過したお客様への記念品贈呈等を行い、民間運営をスタートしました。



空港ビル2階に複合型店舗をオープン（7月1日）

八天堂、stelladew coffee（エイコーンズ）、IROHA port（藤い屋）による複合型店舗をオープンしました。新たにイートインスペースを設置し、その場で食べたものをお土産として買って帰ることもできる店舗となっています。



パートナーシップ協定の締結（7月1日、9月20日、22日、29日）

地域との連携を強化すべく、地方公共団体やDMOとのパートナーシップ協定を締結しました。

<パートナーシップ協定締結の状況>

- 7月1日 広島県
- 9月20日 広島臨空広域都市圏振興協議会(※)
- 9月22日 一般社団法人広島県観光連盟
- 9月29日 一般社団法人山陰インバウンド機構

(※)協議会は竹原市、三原市、尾道市、東広島市、大崎上島町、世羅町の6市町で構成



HISバスツアーの開催（7月22日、31日、8月8日、21日の計4日間）

プロポーザル大会にてイベント企画部門・中学生の部で最優秀賞に選ばれた、竹原市立賀茂川中学校の企画・提案をもとに、HISとHIAPが連携し、バスツアーを開催しました。関係者以外は立ち入りできない滑走路外周を観光バスで走行するなど、広島空港ならではのツアーで、計179名の方にご参加いただきました。



6. 2021年度トピックス

特定天井リニューアル工事を開始（9月10日）

耐震性を強化するため、空港ビルの天井リニューアル工事を開始しました。本工事は民間運営開始後、初めてとなる大規模なリニューアル工事となります。工事は2023年3月に完工する予定で進めてまいります。



HIROSHIMA SORA井オープン（11月1日）

広島エアポートホテルプロデュースにより、広島空港3階に井専門店をオープンしました。東広島市豊栄町発祥のへそ井を始めとする、9種類のメニューを揃えています。



沖縄観光プロモーションの実施（11月4日、5日、6日）

比較的用户者が減少する冬の沖縄線の利用客増加を企図し、沖縄観光プロモーションを実施しました。広島銀行1階のトゥモロウスクエアで開催し、ANA、美ら海水族館やミス沖縄、ミスハイビスカス等の協力により、多くの方にご来場いただきました。



櫨（くぬぎ）オープン（11月10日）

広島空港2階に焼菓子店「櫨 広島店」がオープンしました。広島市を拠点とするメーカーこだわりのワッフルやバームクーヘン、焼菓子等の手土産にちょうど良いお菓子を販売する店舗です。



6. 2021年度トピックス

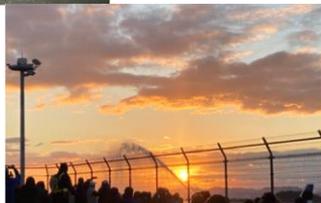
北海道物産展の開催（7月16日～26日、11月12日～24日）

売上増加および札幌線の需要喚起を企図し、広島空港2階にて北海道物産展を2回開催しました。売り場付近に北海道の観光地が掲載されたパンフレットや、アイヌ民族衣装を展示し、ご好評いただきました。



滑走路walkイベントの開催（1月1日）

普段は絶対に入れない『滑走路』を歩くことができるイベントを人数限定で開催しました。滑走路ウォークのあとは展望デッキで初日の出をご覧いただきました。



感染症対策

国内空港初となる 自律走行型 UV 除菌ロボットや大型空気清浄機の導入、トイレ洗浄機能の非接触化を行っています。今後もお客様に安心してご利用いただくための環境づくりを進めてまいります。



hiap

Thank you.